

会議録様式

審 議 会 名	令和5年度 第5回杉戸町新庁舎整備審議会
開 催 日 時	令和5年5月22日(月) 午後2時30分から午後 5 時15分まで
開 催 場 所	杉戸町役場 第二庁舎2階会議室
会 議 の 議 題	(1)基本理念及び基本方針(案)について (2)役場庁舎の導入機能について (3)規模及び事業手法などについて
公開・非公開の別	<u>公開</u> ・ 非公開 (傍聴者数 3 人)
出席委員氏名	石原 和夫、岩本 明美、佐々木 誠、藏田 幸三、 藤岡 麻紀、池澤 龍三、井上 裕文、中野 恒明、 青木 一子

■審議の概要

1.開会

2.報告事項

(1)第4回会議における確認事項及び意見書について

- ・「第4回審議会意見回答書」の読み上げ。(事務局)
- ・敷地の整形化について基本構想で示せるように資料を作成し、どの程度費用がかかるか可能な限り試算する。(事務局)
- ・道の駅については敷地の整形化やアグリパークとの関係性を整理し、7月の審議会までに説明したいと考えている。(事務局)

2.DX 及び PPP についてのレクチャー

(1)DX の動向について(井上委員)

- ・DX:Digital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)とは「進化したデジタル技術を活用し、ビジネスだけでなく人々の生活をより良い状態へ変革する」こと。よくある事例がキャッシュレス。
- ・総務省自治体DX推進計画の説明。国は自治体に対して DX を促している。
- ・自治体(埼玉県)デジタルトランスフォーメーション推進計画の説明。分野別ビジョン(防災ビジョン、保健医療ビジョン等)ごとに DX 計画を立て、予算化し、遂行している。
- ・窓口業務効率化を目的としたデジタル窓口の説明。「書かない窓口」とは職員

が聞取りをしながら申請書を作成する窓口。「待たない窓口」とは事前予約によって待たない窓口。「行かない窓口」とはスマートフォンなどで申請が完了する窓口。手法によって庁舎窓口の規模が変わる。

- ・多目的ホール、地元産品販売などの住民協働(※1)ゾーンにおける DX 活用アイデアとしては、無料 WiFi、タブレット貸出、キャッシュレス決済などが有る。メタバース(※2)を活用するアイデアもある。
- ・深谷市新庁舎では基本計画の時点で DX 活用を検討していた。
- ・埼玉県庁におけるペーパーレス事例の紹介。意識の醸成が最も大変だった。ペーパーレスに関するメールマガジンや知事のトップダウン等により紙の9割削減を実現。
- ・フリーアドレスオフィスの説明。デジタル機器を活用し、個人専用の机やデスクトップパソコン、電話を設けないことでスペースの縮小を図る。
- ・長野県松本市の事例(現在検討中)の説明。オンライン窓口により、どこでも、あらゆる手続きや相談が可能(デジタル市役所)。子育て世帯の多い地域に子育て・福祉部門の庁舎を建設、35拠点にオンライン窓口設置が計画されている(分散型市役所)。

(2)DX の動向について質疑応答

- ・新庁舎でなくても現町役場において DX はできるのではないかと。(石原委員)
→埼玉県庁のように現在の庁舎でも可能。(井上委員)
- ・杉戸町においても今年 3 月に「杉戸町 DX 推進計画」を策定した。(事務局)
- ・DX はどの程度実現性が有るものなのか。(佐々木会長)
→窓口での DX は既に実施している自治体有る。DX の技術は既に有るので、自治体は各々の事情に応じて導入している状況。わざと DX を遅らせて、先進事例の良いところを導入する計画の自治体もある。(井上委員)
- ・今後大きな庁舎を所有する必要有るのか。民間の建物をリースし、また数十年後に庁舎を再度検討する計画の自治体もある。(池澤委員)
→松本市の場合はコンパクトな庁舎を分散させる計画をしている。(井上委員)
→防災拠点としての庁舎は必要だと考えるが、災害時のバックアップが確保できるように分散させることが必要なのではないか。(池澤委員)
- ・公的な文書を電子化してどう保管するか整理が必要。(井上委員)

(3)PPP(Public Private Partnership)からみた杉戸町の庁舎整備について(藏田委員)

- ・PPP はどの地域でも実施可能。地域の資源や資産をうまく活用するシステム。
- ・PPP に正解は無い。杉戸町にちょうど良い、身の丈に合った手法を見定めて行くことがポイント。

- ・公共施設整備において PPP は幅広く活用されており、特別な手法ではなくなっている。規模が小さくても住民や自治体職員の尽力により PPP が行われている自治体も多い。
- ・PPP 活用のメリットは①地方創生、②財政健全化、③経済活性化。特に①と③について考える必要が有る。庁舎は行政ではなく町民のもの。どう庁舎を使いこなしていくかは町民の手にかかっている。地域経済活性化や雇用創出に向けた思いを強く持つことが重要。
- ・大規模でスタイリッシュなものを作ることが目的ではなく、町民が使いやすく身の丈に合った取り組みができる場をつくることが目的。誰かに丸投げするのではなく、町民自身が庁舎を使いこなし、そのメリットを享受していくんだという覚悟を持つことが必要。
- ・成功している事例の一番のポイントは、町民・町長・町議会議員・役場職員が当事者として共に取り組み、地域に経済的なメリットをもたらしていること。
- ・従来型、DB、DBO、PFI 手法の説明。PFI は設計、施工、維持管理、資金調達を組み合わせしていく手法。
- ・貝塚市事例の紹介。PFI で庁舎整備を行っている事例。庁舎をスリム化し余剰地を民間に貸すことで、賃料を得る仕組み。
- ・遠野市事例の紹介。東日本大震災により庁舎が全壊したため、ショッピングセンター2階に移転。町民、職員にとって便利であり、ショッピングセンターの売り上げも上がった。必ずしも公共で庁舎を建てる必要はない。
- ・大分市事例の紹介。PFI を導入し、施設の開館時間延長や宿直のアウトソーシングなどが実現した。地域企業の参画や雇用創出につながっている。
- ・人口減少と共に庁舎の必要規模も小さくなる。耐久性の高い構造体をつくり、時代に合わせて内装を変化させる「スケルトンインフィル」という整備手法も有る(立川市の事例)。庁舎で使わなくなった部分は民間に貸すことができる。
- ・地域経済循環に留意した庁舎整備をすることで、人口の維持や将来の街づくりにつながる。
- ・庁舎整備をきっかけに、町民が参加するまちづくりプラットフォームの構築をお勧めする。
- ・今有るお金を最大限使って立派な庁舎を建てるという考えではなく、地域にとって必要な、身の丈に合った庁舎を町民自らが提案し使っていくことで、持続可能な庁舎が実現すると考える。

(4)PPP について質疑応答

- ・小鹿野町ではどのような取り組みが行われたのか。(石原委員)
→地域商社を立ち上げ、地域物産の販売を目指した。(藏田委員)
- ・役場庁舎を民間資金で建て、運営している事例はあるか。(石原委員)

- 民間資金で建設・運営する事例はある。運営時は自治体がサービス購入料を民間に支払う。PFI では効率的な建設・維持管理を見据えた計画を民間が提案する。従来方式では設計・建設・維持管理がそれぞれの都合で計画を立てるため、ちぐはぐな事態が起こる。(藏田委員)
- ・PPP は庁舎そのものの建設手段として、そぐわないのではないか。(石原委員)
 - PPP を使いこなせない自治体において、あえて導入しトラブルに発展する場合もある。当事者意識をもって取り組めるかが重要。(藏田委員)
- ・町民や行政が主体であるため、民間が入るタイミングが難しいと感じた。また、官民連携の目的をどこに設定するかについても難しいと感じた。(藤岡委員)
- ・町の予算が限られているため、建設コストがかなり重要だと考えているが、PPP を導入することでコストを圧縮できるのか。(佐々木会長)
 - 5～10%は効率化できる。現在の物価上昇を踏まえると、コスト削減のためには可能な限り早く着手することが必要だと考える。(藏田委員)

3.議事

(1)基本理念及び基本方針(案)について

- ・前回審議会でのご意見を踏まえた基本方針の修正点について説明。(事務局)
- ・前回審議会でのご意見を踏まえ、基本理念案を「変化に柔軟に対応する庁舎～みんなが集い、笑顔と自然と文化を未来につなぐ～」とした。(事務局)
- ・基本理念案の主題「変化に・・・庁舎」は心に響かない。キャッチフレーズとしてはふさわしくないと考える。ただし、副題の「みんなが・・・未来につなぐ」は良いと考える。(石原委員)
- ・維持管理コストの「シンプルな・・・」を「ライフサイクルコストを考慮した」とすることで、ハードとソフト両方を考慮した意味になると考える。基本理念は主題と副題を入れ替えてはどうか。(池澤委員)
- ・基本方針の「50 年後の社会環境変化・・・」と「超少子高齢化、人口減少等・・・」は内容がかぶっているため、一つにまとめた方が良いと考える。(青木委員)

(2)役場庁舎の導入機能について

- ・「資料3」については前回審議会で提示した資料から大きな変更はないが、一部機能を追加した。(事務局)
- ・「資料3-2」では機能の優先順位や機能の兼用について整理した。(事務局)
- ・「資料3」の防災拠点機能には、「情報収集・情報発信」というキーワードが必要だと考える。災害時、障がい者にとって情報は非常に重要。(青木委員)
- ・「あるといい機能」の定義があいまいだと考える。公共か民間かは分けた方が良い。スペース例は規模を含めて整理する必要がある。議会は他の全てと兼

ねられると考える。サーバー室は将来なくなる可能性が有る。将来にわたって必要か否かを検討する必要がある。省エネルギーに関する機能は太陽光発電以外にもある。(藏田委員)

- ・必要な機能はこれまでの審議会やアンケートの意見を整理したもの。基本構想としてどのように取りまとめるかは庁内検討会議において改めて検討する。(事務局)
- ・基本構想の段階ではどのような機能が必要かを明確にすることが重要。具体的な空間づくりについては基本計画以降で良いと考える。(池澤委員)

(3)規模について

- ・新庁舎の規模検討に当たっては国土交通省、総務省の算定基準結果及び既存庁舎の規模を整理した。整理の結果、新庁舎の規模は、延床面積約 6,800 ～ 7,800 m²程度と想定される。(事務局)
- ・保健センター、文化財資料室の統合は前提条件か。(藏田委員)
→統合を前提としている。(事務局)
- ・持続可能な庁舎を目指すのであれば、今後の人口減少を踏まえ、会計年度職員数やサーバー室等の規模は厳しく精査し面積を算定すべきではないか。想定面積の数字は意味が重いため、根拠はよく検討すべき。総務省が自治体戦略 2040 構想を出している。人口の半減に伴い、職員数を半数にしてもサービスが維持できるように、行政計画の検討を求めたもの。現状の職員数に基づき庁舎規模を算定するのは無謀だと考える。(藏田委員)
→延床面積 6,800 ～ 7,800 m²からどう削減していくかは検討中。DX により面積を圧縮してる庁舎の事例もあまりない。ご意見を頂きながら面積縮小を図っていきたい。(事務局)
- ・人口減少、DX 等を踏まえ規模の最低基準を示した方が良い(佐々木会長)
- ・想定規模に基づく工事費算出が重要だと考える。規模と工事費はセットで検討すべき。DX を導入すれば面積が単純に減るわけではない。算定規模の根拠を注釈で明示すべき。(池澤委員)

(4)概算費用、整備事業方式の考え方について

- ・想定延床面積に想定平米単価を掛けて概算費用を算出した。算出の結果約建設費用は約 44 億円から約 64 億円になると想定された。なお、外構工事、解体工事、仮設庁舎建設工事等の費用は含まれていない。(事務局)
- ・整備事業方式について①従来方式、②DB 方式、③DBO 方式、④PFI 方式の説明。各方式の特徴を整理した星取表の説明。事業手法は従来方式もしくは DB 方式は望ましいと考える。(桂設計)
- ・この資料については修正すべき点があるため、改めて指摘する。(藏田委員)
- ・PFI のメリットはお金の流れをどうするか民間を含めてしっかり考えること。

決して町の意向が反映しにくい訳ではない。基本構想の段階で PFI を否定すべきではない。(池澤委員)

- ・DB は要求水準書の作成に手間がかかるため従来方式の方が良いという星取表になっている。要求水準書をしっかり作れば、それに基づいたコストダウン方法を民間に提案させることができる。それが DB のメリット。木造が 1 割高い根拠と ZEB が 12% 上乗せになる根拠は信頼できるか。(石原委員)

→ 平米単価は発注価格ではなく、予算額に基づいて算出した。2 つの自治体の予算額実績値を参照した。また、近年の物価上昇を踏まえ、建設物価指数に基づき補正をしている。ZEB については専門の資料に基づき 12% 増という数値を採用した。木造については規模、耐火の手法、原材料の値段等によって価格が大きく変わる。庁舎規模になると、いずれにしても鉄筋コンクリート造より高コストにはなる。最低でも 1 割程度はコストアップになると予測した。(桂設計)

- ・4 年後の物価上昇率 114% は精査すべき。最近では 1 年で 10% 上昇している。(藏田委員)

(5) その他

- ・規模の大小にかかわらず企業の参入は難しいと感じた。庁舎という場が企業にとってどういうメリットが有るのかをよく検討する必要がある。(藤岡委員)
- ・庁舎建設は地元の建設業者が大きく関わるものだと思っていたので勉強になった。(藤岡委員)

4. その他

- (1) 発言しきれなかったことなど有りましたら資料 5 の意見書に記載のうえお送りください。(事務局)
- (2) 6 月 23 日(金)に最近完成した他市町村庁舎の見学会を実施します。(事務局)

5. 閉会

※1 住民協働: 住民、自治体、町内会、ボランティア団体、NPO 事業者、企業、町などの様々な主体が、その役割や責任を担い、信頼関係のもと、地域社会の課題を共有し、その課題解決のためにまちづくりを推進すること。

※2 メタバース: インターネットを活用した 3 次元の仮想空間やサービス。